

かずさ水道広域連合企業団 広域連合ビジョンの概要

1 かずさ水道広域連合企業団について（平成31年4月1日事業統合・給水開始）

千葉県営水道並びに木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市に供給する水道用水供給事業と、供給された水道用水や地下水を各家庭に配水する水道事業の2つの事業を行っています。

2 広域連合ビジョン

かずさ水道広域連合企業団は、次世代が安心して水道を利用できるよう、統合後に経験した台風や漏水事故による長期断水などを踏まえ、広域連合ビジョンを策定いたします。

(1) 位置づけ

統合にあたり策定した「君津地域水道事業統合広域化基本計画」に沿って、厚生労働省が示す「新水道ビジョン」等における各種施策との整合性を図り、併せて総務省が各事業体に策定を要請している「経営戦略」を兼ねるものです。

(2) 計画期間

令和6年度から令和15年度(2024年度から2033年度)までの10年間

3 現状と課題

(1) 基本計画の進捗（課題の整理）

① < 施設（モノ）～【安定給水の危機】の解消に向けて～>

・管路更新はしているものの、有効率が上昇していないため、更新箇所の検討などが必要である。

令和元年度から老朽管（統合時1,145km）などの更新工事を年間約36km行い、令和4年度末の老朽管の割合は、統合前の39.8%から35.0%となりました。

一方で、有効率は、今後更新を予定している管路の老朽化に伴い、漏水が発生していることなどにより、令和4年度末で86.2%となつており、改善されていません。

・災害時の水道水確保のため、配水施設の耐震化を計画的に進めていく必要がある。

統合前(H30)と比較して老朽管の割合は4.8ポイント減少。

② < 管理体制（ヒト）～【技術継承の危機】の解消に向けて～>

・専門技術を継承し、事業を継続するため、今後も知識や技術力を十分備えた企業団正職員の育成が必要である。

職員数の推移

	統合前	統合後					(単位：人)
		R1	R2	R3	R4	R5	
企業団正職員 ①	62	64	65	89	94	101	
構成団体派遣職員 ②	106	92	92	69	63	56	
合 計 (①+②)	168	156	157	158	157	157	
企業団正職員割合	36.9%	41.0%	41.4%	56.3%	59.9%	64.3%	
構成団体派遣職員割合	63.1%	59.0%	58.6%	43.7%	40.1%	35.7%	

身分移行や計画的な採用により企業団正職員の割合が統合前(H30)と比較して約27ポイント増加。

・各種システムや事務処理方法が完全に統一されていないため、事務の効率化に向けてシステムの統一、集約が必要である。

③ < 料金 費用 財源（カネ）～【経営の危機】の解消に向けて～>

・支出はおおむね基本計画どおり推移しているが、漏水事故による修繕費用など計画外の費用の発生により、四市合計では、計画値と比して増加傾向が続く。

収益的支出の内訳（実績と計画）

構成団体	R1		R2		R3		R4		
	決算値(A)	計画値(B)	比較(A-B)	決算値(A)	計画値(B)	比較(A-B)	決算値(A)	計画値(B)	比較(A-B)
木更津市	3,566	3,639	△73	3,559	3,609	△49	3,732	3,681	52
君津市	2,098	2,119	△22	2,111	2,123	△11	2,187	2,179	8
富津市	1,396	1,461	△65	1,537	1,468	69	1,554	1,494	60
袖ヶ浦市	1,856	1,859	△3	1,869	1,850	19	1,921	1,856	65
四市合計	8,915	9,078	△163	9,077	9,050	27	9,394	9,210	184
									61

※ 端数処理の関係上、数値が一致しないことがある。

※ 計画値(B)は、基本計画策定時の値を示す。

約1億1,000万円

基本計画に対して
約0.3%増加。

(2) 水道を取り巻く環境の変化

① 大規模な自然災害、漏水事故

令和元年房総半島台風(台風15号)や令和元年東日本台風(台風19号)の発生に伴う大規模停電や、令和2年度に発生した送水管破損による漏水事故により長期間断水が発生したことに伴い、広範囲な応急給水活動を実施しました。

今後の断水リスクに備え、非常用自家発電設備などを順次整備していく必要があります。

【断水期間】

台風15号：最大17日 台風19号：最大5日 送水管漏水事故：最大6日

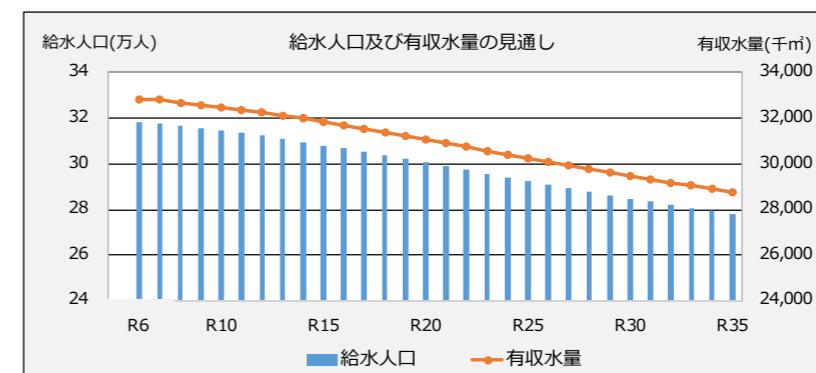
② 物価上昇による費用の増加

材料費や労務費が上昇しているため、今後も各支出の増加が見込まれます。

今後、水需要の増加が見込めない中で、財源の確保に努めるとともに計画的に事業を進めていく必要があります。

(3) 将来見通し(給水人口及び有収水量の減少)

四市水道事業における給水人口及び有収水量の見通し(令和6年度から令和35年度まで)

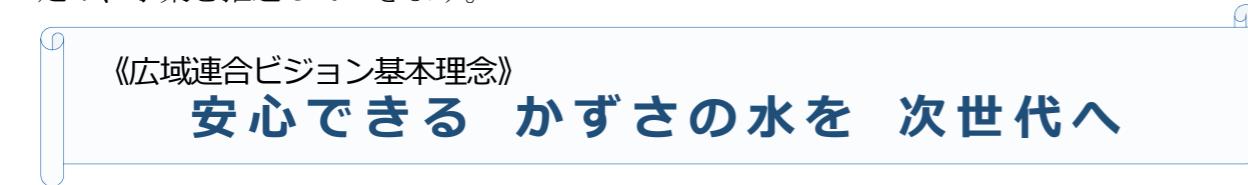


令和6年度から
令和35年度
までの30年間
で給水人口及び
有収水量ともに
約13%減少。

※ 令和4年度実績値を基に各種統計資料を調整して算出した。

4 基本理念、実現施策

安心できる水を提供するとともに、50年後、100年後の未来を見据えて安全で強靭な水道を次世代へ継承し、持続可能な水道を目指すため、下記の基本理念を掲げ、「現状と課題」の整理を行った上で、「強靭」、「安全」、「持続」の項目ごとに施策を定め、事業を推進していきます。



1 強 鞣【災害に強い水道】

《施策目標》 災害に強い施設づくりと危機対応力の向上

実現施策

- 主要な施設及び管路の耐震化、停電対策
- 適正な維持管理による水道施設の機能保持
- 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化

2 安 全【安心安全な水】

《施策目標》 安心で安全な水の安定供給

実現施策

- 安定した水源の確保
- 適正な水質管理、水質検査水準の維持
- 再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
- 情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み

3 持 続【持続可能な経営】

《施策目標》 経営基盤の強化

実現施策

- 安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成
- 事務の効率化推進、一体化
- 施設統廃合計画の推進による施設の適正化
- 将来を見据えた管路の整備
- お客様への情報提供の充実
- I C T（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究
- 持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

5 財政収支見通し

本広域連合ビジョンで掲げた実現施策を着実に推進していくために、必要な経費と財源を踏まえた財政収支見通しを水道事業、水道用水供給事業それぞれ策定し、計画的に実施することで安定的な経営を維持していきます。

(1) 水道事業

① 収益的収支（施設の維持管理など事業の経営に係る収支）

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R6～R10計	R11～R15計	R6～R15平均
収益的収入	104	105	105	107	108	530	626	116
収益的支出	100	100	103	105	106	514	556	107
当年度純損益	4	5	2	2	2	※1	3	※2

② 資本的収支（施設や管路の更新工事などに係る収支）

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R6～R10計	R11～R15計	R6～R15平均
資本的収入	60	60	67	72	69	327	160	49
資本的支出	92	95	103	110	106	504	411	92
資本的収支不足額	△32	△35	△36	△38	△37	△177	△251	△43

③ 繰越留保資金と企業債残高

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R10末	R15末
繰越留保資金	42	42	39	37	35	35	35
企業債残高	288	305	324	346	367	367	405

(2) 水道用水供給事業

① 収益的収支

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R6～R10計	R11～R15計	R6～R15平均
収益的収入	58	57	60	61	60	296	299	59
収益的支出	64	59	61	60	60	305	294	60
当年度純損益	△6	△2	△1	1	0	※1	△2	※2

② 資本的収支

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R6～R10計	R11～R15計	R6～R15平均
資本的収入	7	10	10	6	12	44	39	8
資本的支出	25	34	41	28	39	166	167	33
資本的収支不足額	△18	△24	△31	△22	△27	△122	△128	△25

③ 繰越留保資金と企業債残高

（単位：億円）

区分＼年度	R6	R7	R8	R9	R10	R10末	R15末
繰越留保資金	60	57	50	51	48	48	43
企業債残高	48	46	46	44	44	44	46

※ 各表は、端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

※ 1は、R6からR10までの平均値を、※2は、R11からR15までの平均値をそれぞれ記載している。

※ 表②の資本的収支における資本的収支不足額は損益勘定留保資金などで補てんする。

なお、財政収支見通しについては、5年に1度見直しを行います。

6 進捗管理

P D C Aサイクルによる施策の評価を実施して、事業の進捗管理を着実に行います。

かずさ水道広域連合企業団 広域連合ビジョン

令和 6 年度 進捗管理表

かずさ水道広域企業団

広域連合ビジョン 総括表（令和6年度版）（施策評価及び成果評価）

1 強 鞠【災害に強い水道】

施策目標	実現施策	主な施策内容	評価項目	達成状況	達成率	施策評価	成果指標	目標	実績	成果評価	成果評価に対する説明			
災害に強い施設づくりと危機対応力の向上	(1) 主要な施設及び管路の耐震化、停電対策	配水池や浄水場内施設などの耐震化	施設耐震化の実施状況（配水池）	◎	0.86	A	配水池の耐震化率(水道)	35%(R10) 45%(R15)	-	-	-			
			施設耐震化の実施状況（大寺浄水場内）	◎			耐震化施設設数の割合(用供)	35%(R10) 45%(R15)	-	-	-			
		非常用自家発電設備の整備	非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道事業）	◎			浄水場事故回数（※4）	0回	0回	A	0回のためAと評価した。引き続き、災害に備え、未然防止体制を整備する。			
			非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道用水供給事業）	-			管路の事故割合(水道)	10件/100km (R10) 8.9件/100km (R15)	-	-	-			
	(2) 適正な維持管理による水道施設の機能保持	管路の漏水調査の実施	管路の漏水調査	◎			応急給水訓練等参加延べ人数（※5）	189人以上/年	351人/年	A	351人であったことから、Aと評価し、引き続き危機管理体制の強化を図っていく。			
		水管橋の点検実施	水管橋の点検	×										
		運転管理業務の集約化	集中監視設備の集約化（富津市域、袖ヶ浦市域）	◎										
	(3) 県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化	応急給水訓練や情報伝達訓練の実施	応急給水訓練や情報伝達訓練の実施回数	◎										
		プロジェクトチームによる危機管理体制の強化	プロジェクトチーム会議回数など											
		かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施	応急給水等連絡調整会議回数											
							評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)					
							7	6	86%					

2 安全【安心安全な水】

施策目標	実現施策	主な施策内容	評価項目	達成状況	達成率	施策評価	成果指標	目標	実績	成果評価	成果評価に対する説明						
安心で安全な水の安定供給	(1) 安定した水源の確保	水源水質の監視	水源水質監視項目などの水質検査	◎	0.93	A	水道水における水質基準超過件数（※4）	0件	0件	A	0回であったことからAと評価し、引き続き水源水質の管理を継続する。						
		水道法の検査頻度に基づく検査の実施	水質基準項目などの水質検査	◎													
	(2) 適正な水質管理、水質検査水準の維持	水安全計画のフォローアップ	水安全計画のフォローアップの実施	◎													
		水道G L Pにおける中間審査及び更新審査の実施	水道G L Pの審査並びに外部及び内部精度管理の実施	◎													
		外部及び内部精度管理の実施															
	(3) 再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討	省エネルギー対策に向けた取り組み	マイクロ水力発電の調査検討、自然流下方式への転換検討の実施状況など	○													
		温室温暖化対策に向けた取り組み	温室効果ガスの削減率	◎													
			建設副産物のリサイクル率	◎													
			建設発生土の有効利用率	○													
		浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用率	○													
	(4) 情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み	情報セキュリティに関する情報収集	情報セキュリティに関する情報収集や研修、訓練の参加	○													
		各種研修の参加や訓練の実施	安全管理に関する講習会の実施回数	◎													
		安全パトロールの実施	安全パトロールの実施回数														
							評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)								
							11	10.25	93%								

広域連合ビジョン 総括表（令和6年度版）（施策評価及び成果指標）

3 持 続【持続可能な経営】

施策目標	実現施策	主な施策内容	評価項目	達成状況	達成率	施策評価	成果指標	目標値	実績	成果評価	成果評価に対する説明						
経営基盤の強化	(1) 安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成	技術継承のための次世代を担う職員の確保	企業団正職員の比率	◎	0.95	A	職員採用後3年以内の離職率(※7)	20%以内(R10,R15)	-	-	-						
		人物及び経験を重視した民間企業等経験者の採用選考の実施															
		新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い職場環境づくり	メンター制度の実施、ハラスメント対策、メンタルヘルス対策	◎													
		職員が、主体的に学び、常に業務を取り巻く状況を的確に把握し、新しい視点や豊かな創造力を持って業務に取り組むための研修の充実	内部外部の研修時間数	◎													
	(2) 事務の効率化推進、一体化	各種システムの統一、運用方法の確立	各種システムの統一、集約	◎			施設の統廃合事業(※8)	事業/3事業=%(R10) 事業/5事業=%(R15)	-	-	-						
	(3) 施設統廃合計画の推進による施設の適正化	施設の統廃合事業	施設統廃合事業の実施状況	◎			老朽管更新率	6.0%以上(R10) 11.0%以上(R15)	-	-	-						
	(4) 将来を見据えた管路の整備	老朽管、経年管の適切な解消	管路更新率、有効率	△			ウェブページへの閲覧回数	7万件以上/年	8.2万件/年	A	閲覧回数82,245件/年で、目標を上回り、Aと評価した。 引き続き、ウェブページの充実によるお客様への情報提供充実を図っていく。						
	(5) お客様への情報提供の充実	ホームページなどを利用した情報の提供	ウェブページへの掲載回数	◎			経常収支比率(※9)	104.44%以上(R6水道) 91.16%以上(R6用供)	106.68% 94.93%	A	水道事業は目標値に対し106.68%、用水供給事業は94.93%で、いずれも目標値を上回ったためAと評価した。						
		広報紙の発行	広報紙の発行回数	◎			企業債残高対給水収益比率(※10)	330.41%以内(R6水道) 87.22%以内(R6用供)	314.99% 81.21%	A	水道事業は目標値に対し314.99%、用水供給事業は81.21%で、いずれも目標値の範囲内であったためAと評価した。						
		市主催防災イベントへの参加	市主催防災イベントへの参加	◎													
(6) I C T(情報通信技術)など新しい技術の導入調査、研究	I C T(情報通信技術)などの新しい技術を用いた業務の調査、研究	スマートメーターの導入及び支払方法の多様化に向けた調査、研究など		◎	0.95	A											
		官民連携(デザインビルト方式など)による業務の効率化に向けた導入、調査、検討	官民連携手法の検討状況														
		非開削工法や管更新工法など、開削工法以外の管路更新手法の検討	多様な管路更新手法の検討状況														
	(7) 持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一	年度ごとの財政収支状況の確認(水道事業及び水道用水供給事業)	純利益 企業債残高 繰越留保資金	◎													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td>評価項目数①</td> <td>達成状況②</td> <td>達成率(②/①)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>10.5</td> <td>95%</td> </tr> </table>							評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)	11	10.5	95%					
評価項目数①	達成状況②	達成率(②/①)															
11	10.5	95%															

※1 達成状況②は、それぞれの達成状況ごとに、◎は「1」、○は「0.75」、△は「0.5」、×は「0」として評価を行い、合計した値とする。

※2 施策評価は、達成率75%以上を「A」、50%以上75%未満を「B」、25%以上50%未満を「C」、25%未満を「D」とする。

※3 成果評価は、目標値以上を「A」、目標値の75%以上100%未満を「B」、目標値の50%以上75%未満を「C」、目標値の50%未満を「D」とする。

※4 成果目標「浄水場の事故回数」及び「水道水における水質基準超過件数」の評価は、「0回」及び「0件」場合は「A」と、それ以外は「D」とする。

※5 成果目標「応急給水訓練等参加延人数」の評価は、目標値以上を「A」、評価年度の正職員数以上目標値未満を「B」、それ以外は「D」とする。

※6 成果指標「温室効果ガス排出量(CO2換算値) 削減量」の評価は、R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

※7 成果指標「職員採用後3年以内の離職率」の評価は、目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。

※8 成果指標「施設の統廃合事業」の評価は、予定している事業の達成割合で評価する。

※9 成果指標「経常収支比率」の評価は、目標値以上を「A」、目標値から100を差し引いた値に対して75%以上100%未満を「B」、経常収支比率が100%以上、「B」未満を「C」とし、経常収支比率が100%未満を「D」とする。

なお、経常収支比率が100%未満の場合は、100%以上を「A」、目標値以上100%未満を「B」、目標値未満を「D」とする。

※10 成果指標「企業債残高対給水収益比率」の評価は、目標値以内を「A」、目標値を超える場合を「B」、目標値の105%以内を「B」、目標値の105%を超える場合を「C」とし、目標値の110%を超える場合を「D」とする。

個別管理シート

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策

(担当課：計画課、(工事担当課))

主な施策内容：配水池の耐震化（水道事業）

評価項目：施設耐震化の実施状況（配水池）

達成状況 ◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計等	設計等	工事等	工事等	工事等
実績値	設計等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等		
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	配水池の耐震化率（水道）		<成果指標とした理由>	
目標値	35%(R10)	45%(R15)	安定給水には配水池（水道）及び浄水施設（用供）の耐震化がまず優先されるため。（工事完了後に数値に反映されるため、5年後及び10年後の耐震化率により評価）	
実績値	-	-		
成果評価	-	-		

《実施内容》

- 配水池の耐震化（上烏田浄水場、上飯野配水場、伊豆島配水場）
- ※レベル2地震動（阪神淡路大震災クラスの巨大地震）に耐えられるようにする。

《実施内容に関する説明》

上烏田浄水場はDBで契約し、配水池更新の詳細設計を実施、伊豆島配水場も配水池更新の詳細設計を実施した。上飯野配水場は耐震診断の結果、補強が困難と判明したため、今後、代替の方法を検討する。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策

(担当課：計画課（用水供給課）)

主な施策内容：浄水場内施設の耐震化（水道用水供給事業）

評価項目：施設耐震化の実施状況（大寺浄水場内）

達成状況 ◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計等	設計等	工事等	工事等	工事等
実績値	設計等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	耐震化済施設数の割合（用供）		<成果指標とした理由>	
目標値	35%(R10)	45%(R15)	安定給水には配水池（水道）及び浄水施設（用供）の耐震化がまず優先されるため。（工事完了後に数値に反映されるため、5年後及び10年後の耐震化率により評価）	
実績値	-	-		
成果評価	-	-		

《実施内容》

- 大寺浄水場内の耐震化
- (急速ろ過池、中間ポンプ棟、活性炭吸着槽、特別高圧受変電所)

《実施内容に関する説明》

急速ろ過池は高度な耐震診断を実施し、補強不要となった。中間ポンプ棟及び活性炭吸着槽の更新は基本設計を実施のほか、用地交渉を開始した。特別高圧受変電所は詳細設計を実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策

(担当課：計画課（工事担当課）)

主な施策内容：非常用自家発電設備の整備

達成状況

◎

評価項目：非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道事業）

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	設計等	工事等	設計等	工事等	工事等
実績値	設計等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備	状況に応じて整備
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由>	
目標値	0回	浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。	
実績値	0回		
成果評価	A		

※ 成果評価について「0回」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用自家発電設備の整備 (三直増圧ポンプ場（R6～R7）、大戸見浄水場（R8～R10）) 	
《実施内容に関する説明》	三直増圧ポンプ場について非常用自家発電設備設置に係る基本・詳細設計を実施し、計画通りR7に設置工事に入る予定である。	
《改善点・対策など》		

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（1）主要な施設及び管路の耐震化、停電対策

(担当課：計画課（用水供給課）)

主な施策内容：非常用自家発電設備の整備

達成状況

-

評価項目：非常用自家発電設備整備事業の実施状況（水道用水供給事業）

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値		設計等	工事等	工事等	工事等
実績値					
達成状況					
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	浄水場事故回数	<成果指標とした理由>	
目標値	0回	浄水施設における事故が広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。	
実績値	-		
成果評価	-		

※ 成果評価について「0回」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用自家発電整備の整備 (大寺浄水場内施設（R11～）、十日市場浄水場内施設（R7～）、場外施設（中継ポンプ場等）（R7～）) 	
《実施内容に関する説明》	<p>-</p>	
《改善点・対策など》		

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 勅

実現施策（2）適正な維持管理による水道施設の機能保持

(担当課：用水供給課、施設管理課)

主な施策内容：管路の漏水調査の実施

評価項目：管路の漏水調査

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年
実績値	4,947.1km/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年	1,000km以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	管路の事故割合（水道）		<成果指標とした理由>	
目標値	10件/100km(R10)	8.9件/100km(R15)	漏水等の管路事故が断水につながることから、未然防止や漏水時の迅速な修繕体制を整備する必要があるため。	
実績値	-	-		
成果評価	-	-		

《実施内容》

- 管路の漏水調査

《実施内容に関する説明》

音響調査544km、音圧監視調査46.3km、衛星漏水調査3,284kmを実施したほか、送水管は89.4kmを月1回以上目視点検で行い、計4,947.1km点検した。漏水の早期発見に努め、断水の未然防止を図った。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 勅

実現施策（2）適正な維持管理による水道施設の機能保持

(担当課：用水供給課、施設管理課)

主な施策内容：水管橋の点検実施

評価項目：水管橋の点検

達成状況

×

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年
実績値	30か所/年				
達成状況	×				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年	120か所以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	管路の事故割合（水道）		<成果指標とした理由>	
目標値	10件/100km(R10)	8.9件/100km(R15)	漏水等の管路事故が断水につながることから、未然防止や漏水時の迅速な修繕体制を整備する必要があるため。	
実績値	-	-		
成果評価	-	-		

《実施内容》

- 水管橋の点検

《実施内容に関する説明》

水管橋のうち、送水管については、3か所の点検を実施し、計画どおりの実施となった一方、配水管については、調査対象の選定に時間を要し、150か所に対し27か所の実施となった。

《改善点・対策など》

河川への添架状況によっては単純な目視点検が困難なケースがあるため、困難箇所の情報整理を行い、橋梁点検車やドローン等の採用について検討していく。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（2）適正な維持管理による水道施設の機能保持

(担当課：計画課)

主な施策内容：運転管理業務の集約化

評価項目	R6	R7	R8	R9	R10	達成状況	◎
目標値	設計（袖ヶ浦）	設計（袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）	工事（富津、袖ヶ浦）		
実績値	設計（袖ヶ浦）						
達成状況	◎						
	R11	R12	R13	R14	R15		
目標値							
実績値							
達成状況							

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》	・集中監視設備の集約（富津市域（R8～R10）、袖ヶ浦市域（R6～R10））
《実施内容に関する説明》	袖ヶ浦市域の集中監視設備集約に係る基本設計を実施した。また、設備集約に係る工事の発注手法などを検討したところ、4か年となる見込みであることが判明したため、今後、フォローアップを予定している。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

強 鞠

実現施策（3）県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化

(担当課：計画課)

主な施策内容：① 応急給水訓練や情報伝達訓練の実施
：② プロジェクトチームによる危機管理体制の強化
：③ かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施

評価項目	関連する訓練及び会議の実施回数					達成状況	◎
目標値	9回以上／年	9回以上／年	6回以上／年	6回以上／年	6回以上／年		
実績値	14回／年						
達成状況	◎						
	R11	R12	R13	R14	R15		
目標値	6回以上／年	6回以上／年	6回以上／年	6回以上／年	6回以上／年		
実績値							
達成状況							

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	応急給水訓練等参加延べ人数	＜成果指標とした理由＞
目標値	189人以上/年	過去の災害や漏水事故の経験から、災害対応力の強化には平常時
実績値	351人/年	からの訓練の参加、実施が必要であり、応急給水訓練等の参加により災害発生時に迅速な対応を行うため。
成果評価	A	

※ 目標値以上を「A」、評価年度の正職員数以上目標値未満を「B」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	・応急給水訓練及び情報伝達訓練の実施（各訓練2回以上／年）	(1)
	・プロジェクトチーム会議の実施（3回以上／年（R6、R7））	(2)
	・応急給水等連絡調整会議の実施（2回以上／年）	(3)
	※ (2)のR8以降は、会議の実施、災害基本計画等の見直し及び備蓄資材の購入について適宜対応。	
《実施内容に関する説明》	付表に記載のとおり。	
《改善点・対策など》		

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

強 鞠

付 表-①

実現施策（3）県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化

（担当課：計画課）

主な施策内容：①応急給水訓練や情報伝達訓練の実施

評価項目：応急給水訓練や情報伝達訓練の実施回数

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年
実績値	7回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年	4回以上／年
実績値					
《実施内容》	・応急給水訓練及び情報伝達訓練の実施（各訓練年2回以上）				
《実施内容に関する説明》	情報伝達訓練（4月：153名、10月：152名）。応急給水訓練（6月：8名、2月：20名）。構成市合同応急給水訓練（11月：7名、12月：6名、1月：5名）。延べ351名参加となり危機管理体制の強化を図った。				
《改善点・対策など》					

強 鞠

付 表-②

実現施策（3）県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化

（担当課：計画課、総務課）

主な施策内容：②プロジェクトチームによる危機管理体制の強化

評価項目：プロジェクトチーム会議回数など

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3回／年	3回／年	適宜実施	適宜実施	適宜実施
実績値	3回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施
実績値					
《実施内容》	・プロジェクトチーム会議の実施（R6、R7） ・災害基本計画等の見直し（適宜） ・備蓄資材購入（適宜）				
《実施内容に関する説明》	プロジェクトチーム会議を5月、9月、2月の計3回開催し、災害基本計画等の見直しや備蓄資材購入を実施し、危機管理体制の強化を図った。				
《改善点・対策など》					

強 鞠

付 表-③

実現施策（3）県・かずさ四市、その他関係団体と連携した危機管理体制の強化

（担当課：計画課）

主な施策内容：③かずさ四市との応急給水等連絡調整会議の実施

評価項目：応急給水等連絡調整会議回数

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年
実績値	4回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年	2回以上／年
実績値					
《実施内容》	・応急給水等連絡調整会議の実施				
《実施内容に関する説明》	木更津市、袖ヶ浦市、富津市においては8月、君津市においては9月に応急給水連絡担当者会議を開催し、計4回実施した。相互に連携して綿密な連絡調整を図った。				
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（1）安定した水源の確保

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：水源水質の監視

評価項目：水源水質監視項目などの水質検査

達成状況	◎
------	---

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年
実績値	12回／年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	水道水における水質基準超過件数	<成果指標とした理由>
目標値	0件	水源での臭気物質発生などの水源水質事故は浄水処理に大きく影響し、広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。
実績値	0件	
成果評価	A	

※ 成果評価について「0件」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	・水源水質監視項目などの水質検査 ・水質異常汚染源調査
《実施内容に関する説明》	定期的な監視のほか、かび臭物質増加などの水質悪化時には検査箇所、頻度を高めることで安定した水源の確保に努め、適切な浄水処理に資することができた。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（1）安定した水源の確保

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：水道法の検査頻度に基づく検査の実施

評価項目：水質基準項目などの水質検査

達成状況	◎
------	---

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年
実績値	12回／年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年	12回／年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	水道水における水質基準超過件数	<成果指標とした理由>
目標値	0件	水源での臭気物質発生などの水源水質事故は浄水処理に大きく影響し、広範的な断水につながる恐れが極めて高いと考えられるため。
実績値	0件	
成果評価	A	

※ 成果評価について「0件」の場合は「A」、それ以外は「D」とする。

《実施内容》	・水道法に基づく検査の実施 ・環境保全に基づく検査の実施
《実施内容に関する説明》	水質検査計画に定めた水質検査回数を12回、51項目の検査を実施し、適切な浄水処理に資することができた。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（2）適正な水質管理、水質検査水準の維持

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：水安全計画のフォローアップ

評価項目：水安全計画のフォローアップの実施

達成状況	◎
------	---

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
実績値	1回／年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

- ・水安全計画のフォローアップの実施

《実施内容に関する説明》

検討会を組織し、8月の会議では、適正な運用状況の確認を行った。また、2月の会議では、現状の課題確認、運用評価のとりまとめ、見直し事項の確認など、計画のフォローアップを実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（2）適正な水質管理、水質検査水準の維持

(担当課：用水供給課)

主な施策内容：① 水道G L Pにおける中間審査及び更新審査の実施

：② 外部及び内部精度管理の実施

達成状況

◎

評価項目：水道G L Pの審査並びに外部及び内部精度管理の実施

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4回以上／年	4回以上／年	3回以上／年	4回以上／年	3回以上／年
実績値	4回以上／年				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4回以上／年	3回以上／年	4回以上／年	3回以上／年	4回以上／年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

- ・水道G L Pの審査の実施（中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13） (①)
- ・外部及び内部精度管理の実施（外部：年2回以上 内部：年1回以上） (②)

《実施内容に関する説明》

付表に記載のとおり。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

安 全

付 表-①

実現施策（2）適正な水質管理、水質検査水準の維持

（担当課：用水供給課）

主な施策内容：① 水道G L Pにおける中間審査及び更新審査の実施

評価項目：水道G L Pの審査の実施（中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13）

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	更新審査 1回／年	中間審査 1回／年		更新審査 1回／年	
実績値	1回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	中間審査 1回／年		更新審査 1回／年		中間審査 1回／年
実績値					

《実施内容》

- ・水道G L Pの審査の実施（中間審査：R7,R11,R15 更新審査：R6,R9,R13）

《実施内容に関する説明》

更新審査を受け、R7年8月に認定更新となった。引き続き、適正な水質管理、水質基準の維持に努めていく。

《改善点・対策など》

安 全

付 表-②

実現施策（2）適正な水質管理、水質検査水準の維持

（担当課：用水供給課）

主な施策内容：外部及び内部精度管理の実施

評価項目：外部及び内部精度管理の実施

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年
実績値	14回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年
実績値					

《実施内容》

- ・外部及び内部精度管理の実施（外部：年2回以上、内部：年1回以上）

《実施内容に関する説明》

5月に環境省、7月に千葉県の実施する外部精度管理に参加したほか、内部精度管理は12回実施した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：計画課)

主な施策内容：省エネルギー対策に向けた取り組み

達成状況

評価項目：マイクロ水力発電の調査検討、自然流下方式への転換検討の実施状況など

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施
実績値	検討の実施				
達成状況	○				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施	検討及び実施
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「○」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>		
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営に		
実績値	1,647,670kg-CO2/年	つながると考えられるため。		
成果評価	A			

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> マイクロ水力発電の調査検討 自然流下方式への転換検討など 			
《実施内容に関する説明》	水力や太陽光を用いて効率的な発電が可能と想定される場所の検討を実施した。また、他事業体の導入事例についても調査を実施した。			
《改善点・対策など》	より効果的な場所を選定するため、今後は業務委託等を活用し、再生可能エネルギーの導入検討を実施したい。			

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：計画課)

主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	0.5%	0.5%	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる
実績値	8.1%				
達成状況	○				

※ R6、R7の目標値は、地球温暖化対策実行計画に基づき、R1、R2の平均値から0.5%削減。

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる	次期計画目標値に準ずる
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「○」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが削減できた場合は「△」、削減できなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>		
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営に		
実績値	1,647,670kg-CO2/年	つながると考えられるため。		
成果評価	A			

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの削減 			
《実施内容に関する説明》	送水設備をより電気効率の良い設備へ更新したことなどにより、温室効果ガスの排出の多くを占める電力の使用量を削減することができた。			
《改善点・対策など》				

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：計画課)

主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み

評価項目	建設副産物のリサイクル率				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上
実績値	99.1%				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると考えられるため。
実績値	1,647,670kg-CO2/年	
成果評価	A	

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	・建設副産物などの再資源化
《実施内容に関する説明》	各種工事で排出されたアスファルト塊などの建設副産物58,458tのうち、57,910tについて再資源化施設に搬出し、リサイクル率向上を図った。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：計画課)

主な施策内容：地球温暖化対策に向けた取り組み

評価項目	建設発生土の有効利用率				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
実績値	79.6%				
達成状況	○				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると考えられるため。
実績値	1,647,670kg-CO2/年	
成果評価	A	

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	・建設発生土の有効利用
《実施内容に関する説明》	各種工事で生じた建設発生土36,817m ³ のうち、29,318m ³ について現場内利用など有効利用を図った。
《改善点・対策など》	工事箇所の地質状況により発生土の再利用が適さない場合があり、有効利用が進まなかつたことから、先進団体の対応などについて情報収集を行いながら、有効利用率の向上に努めていく。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（3）再生可能エネルギーの有効活用や環境にやさしい水道システムの構築に向けた検討
(担当課：用水供給課)

主な施策内容：浄水発生土の有効利用

評価項目	浄水発生土の有効利用率				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
実績値	100%				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	温室効果ガス排出量(CO2換算値)削減量	<成果指標とした理由>
目標値	103,367kg-CO2/年以上	地球温暖化対策や省エネによる取組が持続的な水道事業の運営につながると考えられるため。
実績値	1,647,670kg-CO2/年	
成果評価	A	

※ R6、R7は記載の目標値とし、R8以降は、次期「地球温暖化対策実行計画」の目標値とする。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水発生土の有効利用
《実施内容に関する説明》	発生した6,436.8m ³ について、すべて再資源化し、セメント原料などへ有効利用した。今後も積極的に有効利用を実施していく。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（4）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み

(担当課：総務課)

主な施策内容：情報セキュリティに関する情報収集

達成状況

○

評価項目：情報セキュリティに関する情報収集や研修、訓練の参加

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
実績値	6項目				
達成状況	○				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「○」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	情報セキュリティ及び安全管理に関する講習会参加延べ人数	<成果指標とした理由>
目標値	83人以上/年	事業を継続して運営していくために必要なコンプライアンスの徹底には、職員の意識向上が不可欠であり、講習会への参加によりセキュリティインシデントの防止につながるため。
実績値	92人/年	
成果評価	A	

《実施内容》

- 千葉県サイバーテロ対策協議会（千葉県警）を通じた情報共有
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）からの情報収集
- ICT化推進連絡会議の開催
- 府内ホームページや情報共有ツールを通じた職員への周知
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実施する研修への職員参加
- 情報通信研究機構（NICT）が実施するセキュリティに関する研修への参加
- 地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実施するセキュリティに関する訓練への参加

《実施内容に関する説明》

情報セキュリティに関する各種団体との情報交換や、J-LIS、NICTの研修に参加した。また、ICT化推進連絡会議を年2回開催し、情報共有を図ったほか、府内に周知しセキュリティ意識の強化に努めた。

《改善点・対策など》

J-LIS実施のセキュリティに関する訓練は未開催で未実施となつたが、各種研修参加により、セキュリティ対策はすすめている。引き続き定期的な情報収集に努め、参加を推進していく。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

安全

実現施策（4）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み

(担当課：計画課)

主な施策内容：① 各種研修の参加や訓練の実施
：② 安全パトロールの実施

達成状況

○

評価項目：安全管理に関する講習会及び安全パトロールの実施回数

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上
実績値	20回／年				
達成状況	○				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上	13回／年以上
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「○」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	情報セキュリティ及び安全管理に関する講習会参加延べ人数	<成果指標とした理由>
目標値	83人以上/年	建設工事の多い水道事業にあって、重大事故を防止し、作業員の安全を守り、事業を着実に推進していくためには、職員の安全教育が不可欠であるため。
実績値	92人/年	
成果評価	A	

《実施内容》

- 安全管理に関する教育講習等の実施（1回以上／年） (①)
- 安全パトロールの実施（12回以上／年） (②)

《実施内容に関する説明》

付表に記載のとおり。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

安 全

付 表-①

実現施策（4）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み

（担当課：計画課）

主な施策内容：各種研修の参加や訓練の実施

評価項目：安全管理に関する講習会の実施回数

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上
実績値	1回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上	1回／年以上
実績値					
《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理に関する教育講習等の実施（1回以上／年） 				
《実施内容に関する説明》	安全管理に関するビデオ講習を8月に実施したこと、事故を未然に防ぎ、職員の意識向上や安全管理の充実を図ることができた。				
《改善点・対策など》					

安 全

付 表-②

実現施策（4）情報セキュリティ対策や労働安全衛生に向けた取り組み

（担当課：計画課）

主な施策内容：安全パトロールの実施

評価項目：安全パトロールの実施回数

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上
実績値	19回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上	12回／年以上
実績値					
《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 安全パトロールの実施（12回以上／年） 				
《実施内容に関する説明》	安全パトロールを合計19回実施し、工事現場における建設労働災害を未然に防ぎ、発注者側の立場から建設工事などの安全確保を図ることができた。				
《改善点・対策など》					

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策 (1) 安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：技術継承のための次世代を担う職員の確保

：人物及び経験を重視した民間企業等経験者の採用選考の実施

評価項目：企業団正職員の比率

達成状況

◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	65.00%	66.88%	68.75%	70.63%	72.50%
実績値	67.50%				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	74.84%	76.58%	78.34%	79.49%	80.00%
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、目標値には達しなかったが、比率が向上した場合は、「○」、

採用選考を実施した場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	職員採用後3年以内の離職率	
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)
実績値	-	-
成果評価	-	-

<成果指標とした理由>

将来にわたり安全で強靭なかずさの水を次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。

※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。

《実施内容》

・企業団正職員の採用

《実施内容に関する説明》

新規採用試験を1回、民間企業等経験者の採用選考を2回実施し（R6年度中2名、R7年度から9名採用）、次世代を担う職員の確保に努めた。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策 (1) 安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い

職場環境づくり

達成状況

◎

評価項目：メンター制度の実施、ハラスメント対策、メンタルヘルス対策

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年
実績値	4回／年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年	3回以上／年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は

「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	職員採用後3年以内の離職率	
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)
実績値	-	-
成果評価	-	-

<成果指標とした理由>

将来にわたり安全で強靭なかずさの水を次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。

※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。

《実施内容》

・新規採用職員などとメンターにおける定期面談の実施
・管理監督者などへのハラスメント研修の実施（1回以上／年）
・新規採用職員や管理監督者などへのメンタルヘルス研修の実施（1回以上／年）

《実施内容に関する説明》

付表に記載のとおり。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進歩管理 個別管理シート（付表）

持 続

付 表①

実現施策（1）安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い職場環境づくり

評価項目：メンター制度の実施

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					

《実施内容》

・新規採用職員などとメンターにおける定期面談の実施

《実施内容に関する説明》

R6新規採用職員等8名(R5年度中途採用含む)に先輩職員「メンター」をつけて、各々定期的に面談を実施し、職員の定着を図った。

《改善点・対策など》

持 続

付 表②

実現施策（1）安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い職場環境づくり

評価項目：ハラスメント対策

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年
実績値	2回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年
実績値					

《実施内容》

・管理監督者などへのハラスメント研修の実施（1回以上／年）

《実施内容に関する説明》

8月「ハラスメント対策」講習会、35名。12月「管理職のためのハラスメント問題対応研修」33名が参加し、ハラスメントについての理解を深め、よりよい職場環境づくりを図った。

《改善点・対策など》

持 続

付 表③

実現施策（1）安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：新規採用職員が早期に職場に適応し、意欲的に業務に取り組むための風通しの良い職場環境づくり

評価項目：メンタルヘルス対策

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年
実績値	1回／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年	1回以上／年
実績値					

《実施内容》

・新規採用職員や管理監督者などへのメンタルヘルス研修の実施（1回以上／年）

《実施内容に関する説明》

初任者・派遣職員研修において、メンタルヘルス研修として「セルフケアとラインケアについて」を実施し、職員の心の健康確保を図った。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（1）安全・強靭な水道を担う人材の確保、技術の継承と育成

(担当課：総務課)

主な施策内容：職員が、主体的に学び、常に業務を取り巻く状況を的確に把握し、新しい視点や豊かな創造力を持って業務に取り組むための研修の充実

評価項目：内部外部の研修時間数

達成状況 ◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人
実績値	17時間／人				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人	4時間以上／人
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	職員採用後3年以内の離職率		＜成果指標とした理由＞
目標値	20%以内(R10)	20%以内(R15)	将来にわたり安全で強靭なかずさの水を次世代に継承していくためには、人材の確保による組織力の高揚が必要であるため。
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

※ 目標値の直近5年間の新規採用職員に対して各年度の3年以内の退職者数の割合で評価する。

《実施内容》

- ・内部外部の研修への参加

《実施内容に関する説明》

計画内研修1,891.3時間（延べ153人）、計画外研修903.6時間（延べ217人）となり、職務に必要な知識、専門能力の習得などにより水道のスペシャリストの育成に資することができた。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（2）事務の効率化推進、一体化

(担当課：計画課)

主な施策内容：各種システムの統一、運用方法の確立

評価項目：各種システムの統一、集約

達成状況 ◎

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	7件	1件			
実績値	8件				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

- ・各種システムの統一、集約 (R6～R7)
R6：財務会計システム、人事給与システム、勤怠管理システム、料金徴収システム、設備管理台帳システム、管網管理システム、水質検査データ管理システム
R7：給水工事管理台帳システム

《実施内容に関する説明》

財務会計、人事給与、勤怠管理、料金徴収、設備管理台帳、管網管理、水質検査データ管理システムのほか、R7実施予定の給水工事管理台帳システムも前倒して実施し、計8件すべて統一、集約した。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（3）施設統廃合計画の推進による施設の適正化

(担当課：計画課、(工事担当課))

主な施策内容：施設の統廃合事業

評価項目	施設統廃合事業の実施状況				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	工事等	工事等	工事等	工事等	工事等
実績値	工事等				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	工事等	工事等	工事等		
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	施設の統廃合事業		＜成果指標とした理由＞
目標値	事業/3事業=%(R10)	事業/5事業=%(R15)	施設統廃合は将来の施設更新や維持費用の削減が期待できる統合広域化の大きなメリットであり、着実に実施する必要があるため。 (複数年にわたる事業であるため、R10、R15時点での達成状況により評価)
実績値	-	-	
成果評価	-	-	

※ 予定している事業の達成割合で評価する。

《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 上烏田（木更津）、久保、北子安（君津）、上飯野（富津）の配水区域の統廃合 かずさ（木更津）、俵田（君津）の配水区域の統廃合 伊豆島（木更津）、吉野田（袖ヶ浦）の配水区域の統廃合
《実施内容に関する説明》	上烏田等の統廃合は配水池等更新DB事業の契約締結のほか、配管工事や上飯野配水池耐震診断等を実施した。かずさ等の統廃合は連絡管布設等を実施し、伊豆島等の統廃合は配水池更新の詳細設計を実施した。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（4）将来を見据えた管路の整備

(担当課：工務課、施設管理課)

主な施策内容：老朽管、経年管の適切な解消

評価項目：①管路更新率、②有効率

達成状況

△

① 管路更新率

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	1.2%／年以上	1.2%／年以上	1.2%／年以上	1.2%／年以上	1.2%／年以上
実績値	1.2%／年				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	1.0%／年以上	1.0%／年以上	1.0%／年以上	1.0%／年以上	1.0%／年以上
実績値					
達成状況	R6	R7	R8	R9	R10
	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15

② 有効率

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上
実績値	△0.7%				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上	前年度と比較し向上
実績値					
達成状況	R6	R7	R8	R9	R10
	×				
	R11	R12	R13	R14	R15

※1 ①管路更新率については、各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

※2 ②の有効率については、各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、達成できなかつた場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	老朽管更新率		＜成果指標とした理由＞
目標値	6.0%以上(R10)		更新管路の優先度を基に、老朽管、経年管を解消していくことが継続的な安定給水につながるため。
実績値	-		
成果評価	-		

《実施内容》

・老朽管の更新

《実施内容に関する説明》

管路更新により老朽管率は1.3%減少したものの、判明していない地下漏水が増加していると想定され、有効率向上にはつながらず、前年度より有効率は0.7%の減少となった。

《改善点・対策など》

引き続き老朽管の更新を積極的に行っていく。一方、漏水調査については、衛星を活用した新しい漏水調査技術等などの積極的な活用により、早期発見、及び修繕を実施し、有効率向上に努める。

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（5）お客様への情報提供の充実

(担当課：総務課)

主な施策内容：ホームページなどを利用した情報の提供

評価項目	達成状況				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年
実績値	475回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年	200回以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	ウェブページへの閲覧回数	<成果指標とした理由>
目標値	7万件以上/年	ウェブページの掲載を充実させることで、閲覧回数の向上が図られると考えられるため。
実績値	8.2万件/年	
成果評価	A	

《実施内容》

- ・ホームページを利用した情報の提供

《実施内容に関する説明》

ウェブページへの掲載回数475回/年で、お客様への情報提供の充実を図り、ウェブページの閲覧回数は82,245件/年であった。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（5）お客様への情報提供の充実

(担当課：総務課)

主な施策内容：広報紙の発行

評価項目	達成状況				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値	2回/年				
達成状況	◎				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年	2回以上/年
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

- ・広報紙の発行

《実施内容に関する説明》

10月に発行した第10号では、主に能登半島地震での当企業団被災地派遣の状況を、3月に発行した第11号では、主に予算、決算や上島田配水池事業の取り組み状況などを掲載し、水道事業の情報発信に努めた。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（5）お客様への情報提供の充実

(担当課：計画課)

主な施策内容：市主催防災イベントへの参加

評価項目：市主催防災イベントへの参加

	達成状況	◎
R6		
目標値	適宜	適宜
実績値	4回	
達成状況	◎	
R11		
目標値	適宜	適宜
実績値		
達成状況		
R12		
R13		
R14		
R15		

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、参加できなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

《実施内容》

- ・市主催防災イベントへの参加

《実施内容に関する説明》

5月：富津市防災フェスタ、11月：君津市総合防災訓練、11月：きさらづ防災フェスタ2024、
2月：袖ヶ浦市総合防災訓練。計4回市主催防災イベントへ参加し、お客様への情報発信を行った。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（6）ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究

（担当課：業務課、計画課）

主な施策内容：① ICT（情報通信技術）などの新しい技術を用いた業務の調査、研究

- ：② 官民連携（デザインビルド方式など）による業務の効率化に向けた導入、調査、検討
- ：③ 非開削工法や管更生工法など、開削工法以外の管路更新手法の検討

評価項目：新しい技術の導入調査、研究の実施状況

達成状況	◎
------	---

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施
実績値	3件実施				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施	3件実施
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「—」を記載する。

《実施内容》

- ・スマートメーターの導入及び支払方法の多様化に向けた調査、研究など (①)
- ・官民連携手法の検討状況 (②)
- ・多様な管路更新手法の検討状況 (③)

《実施内容に関する説明》

付表に記載のとおり。

《改善点・対策など》

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

持 続

付 表-①

実現施策（6）ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究

（担当課：業務課）

主な施策内容：ICT（情報通信技術）などの新しい技術を用いた業務の調査、研究

評価項目：スマートメーターの導入及び支払方法の多様化に向けた調査、研究など

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> スマートメーターの導入に向けた調査、研究（R6～R15） 支払方法の多様化に向けた調査、研究（R6～R15） 検針票のペーパーレス化などの新しい技術の調査、研究（R6～R15） 				
《実施内容に関する説明》	スマートメーター勉強会開催（6月：職員75名）、外部セミナー・展示会出席（7.10月）、検針票ペーパーレス化の事業者聞き取り調査（11月）、県企業局を訪問し支払方法多様化の調査研究を実施した（1月）。				
《改善点・対策など》					

持 続

付 表-②

実現施策（6）ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究

（担当課：計画課）

主な施策内容：官民連携（デザインビルド方式など）による業務の効率化に向けた導入、調査、検討

評価項目：官民連携手法の検討状況

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携手法の検討状況 				
《実施内容に関する説明》	官民連携手法のひとつであるDB方式について、過年度より導入準備を進め、複数回の事業者選定委員会を経て「上烏田浄水場配水池等更新DB事業」の事業契約に至った。				
《改善点・対策など》					

持 続

付 表-③

実現施策（6）ICT（情報通信技術）など新しい技術の導入調査、研究

（担当課：計画課）

主な施策内容：非開削工法や管更生工法など、開削工法以外の管路更新手法の検討

評価項目：多様な管路更新手法の検討状況

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値	調査の実施				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	実施	実施	実施	実施	実施
実績値					
《実施内容》	<ul style="list-style-type: none"> 多様な管路更新手法の検討状況 				
《実施内容に関する説明》	各種検討業務、基本計画において、非開削工法や管更生手法の導入について、適時採用が可能か検討した。				
《改善点・対策など》	非開削工法は費用が高額になるため、採用可能な条件が限られる。また、更正工法については軌道下や水管橋など更新が困難な箇所への採用が有効であるため、今後も情報収集や技術の動向に注視する。				

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート

持 続

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道事業及び用水供給事業）

評価項目	達成状況				
	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	6項目	6項目	6項目	6項目	6項目
実績値	6項目				
達成状況	◎				

	R11	R12	R13	R14	R15
目標値	6項目	6項目	6項目	6項目	6項目
実績値					
達成状況					

※ 各年度ごとの達成状況欄に、達成できた場合は「◎」、おおむね達成できた場合は「○」、未達成だが実施している場合は「△」、実施しなかった場合は「×」、評価対象外年度は「-」を記載する。

成果指標	経常収支比率		＜成果指標とした理由＞
目標値	104.44%以上(R6水道)	91.16%以上(R6用供)	持続可能な事業運営、継続的な施設更新には黒字を計上し安定的な経営を行う必要があるため。
実績値	106.68%	94.93%	
成果評価	A		＜成果指標とした理由＞

※ 目標値以上を「A」、目標値から100を差し引いた値に対して75%以上100%未満を「B」、経常収支比率が100%以上、「B」未満を「C」とし、経常収支比率が100%未満を「D」とする。

なお、目標値が100%未満の場合は、100%以上を「A」、目標値以上100%未満を「B」、目標値未満を「D」とする。

成果指標	企業債残高対給水収益比率		＜成果指標とした理由＞
目標値	330.41%以内(R6水道)	87.22%以内(R6用供)	企業債は資金確保、世代間負担の公平性の観点から欠かせないものであるが、残高の増加は経営の硬直化を招く恐れがあるため。
実績値	314.99%	81.21%	
成果評価	A		＜成果指標とした理由＞

※ 目標値以内を「A」、目標値を超える場合を「B」、目標値の105%以内を「C」、目標値の105%を超える場合を「D」とし、目標値の110%を超える場合を「D」とする。

《実施内容》	・年度ごとの財政収支状況の確認
《実施内容に関する説明》	付表に記載のとおり。
《改善点・対策など》	

広域連合ビジョン 進捗管理 個別管理シート（付表）

持 続

付 表-①

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道事業）

評価項目：純利益、企業債残高、繰越留保資金

※ R11以降の目標値は、今後の財政収支の見直し時に設定する。

① 純利益

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	4億円	5億円	2億円	2億円	2億円
実績値	6.4億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

② 企業債残高

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	288億円	305億円	324億円	346億円	367億円
実績値	274億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

③ 繰越留保資金

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	42億円	42億円	39億円	37億円	35億円
実績値	52.4億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					
《実施内容》					
・年度ごとの財政収支状況の確認					
《実施内容に関する説明》					
各種費用が上昇したものの、料金改定によりおおむね当初見込みどおりの料金収入が確保され、また、企業債借入も抑制されたことから、純利益（+2.4億円）、企業債残高（△14億円）、繰越留保資金（+10.4億円）でいずれも目標値を上回った。引き続き、財政収支状況を確認し健全な経営に努める。					
《改善点・対策など》					

持 続

付 表-②

実現施策（7）持続可能な経営に向けた適正な水道料金の検討、水道料金の統一

（担当課：企画財政課）

主な施策内容：年度ごとの財政収支状況の確認（水道用水供給事業）

評価項目：純利益、企業債残高、繰越留保資金

※ R11以降の目標値は、今後の財政収支の見直し時に設定する。

① 純利益

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	△6億円	△2億円	△1億円	0.6億円	△0.2億円
実績値	△1.6億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

② 企業債残高

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	48億円	46億円	46億円	44億円	44億円
実績値	45億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

③ 繰越留保資金

	R6	R7	R8	R9	R10
目標値	60億円	57億円	50億円	51億円	48億円
実績値	72.5億円				
	R11	R12	R13	R14	R15
目標値					
実績値					

《実施内容》

・年度ごとの財政収支状況の確認

《実施内容に関する説明》

各種費用が上昇したものの、企業債借入が抑制されたことから、純利益（+4.4億円）、企業債残高（△3億円）、繰越留保資金（+12.5億円）でいずれも目標を上回った。なお、赤字であるため、料金改定により赤字解消をすすめ、引き続き財政収支状況を確認し健全な経営に努める。

《改善点・対策など》